

# 祈りの展望台

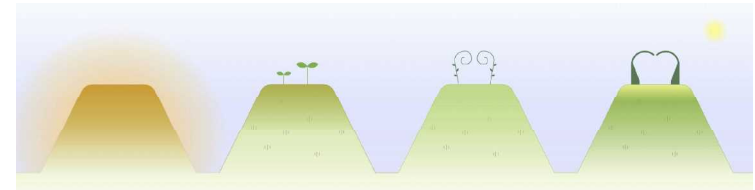


旧海軍司令部壕の展望広場に立ち、  
海軍大田司令官の最後の電文にあった一文に想いを馳せる

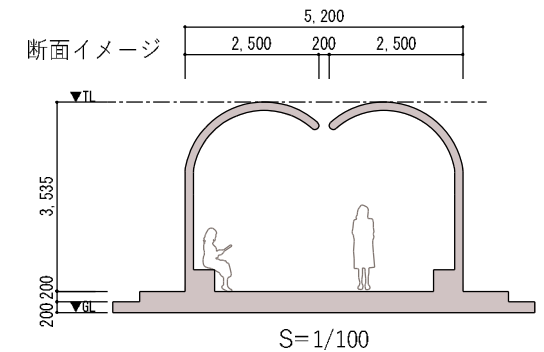
「一木一草焦土ト化セン」  
(沖縄は一本の木、一本の草さえすべてが焼けてしまった)

ここから見える景色  
戦後の焼野原から復興を遂げた沖縄

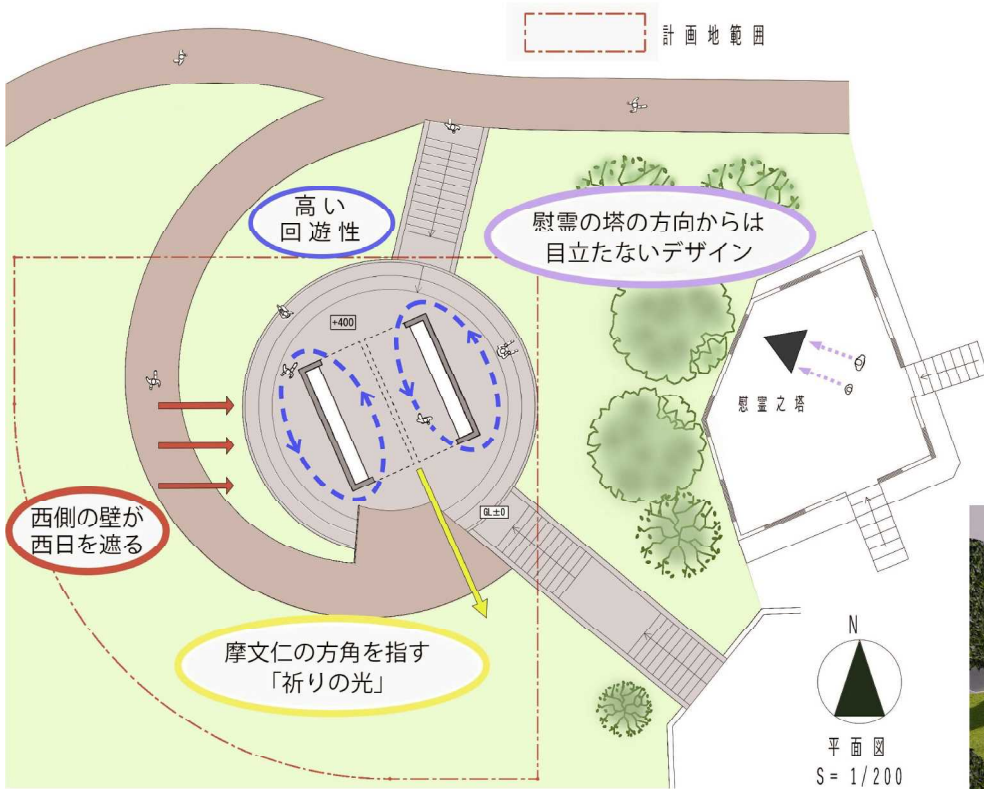
「沖縄の復興」を「新芽の成長」に例え表現し、  
力強くも優しく包むような形に



## ◆配置計画について

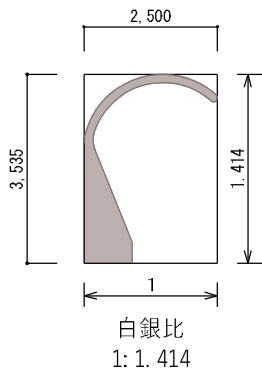
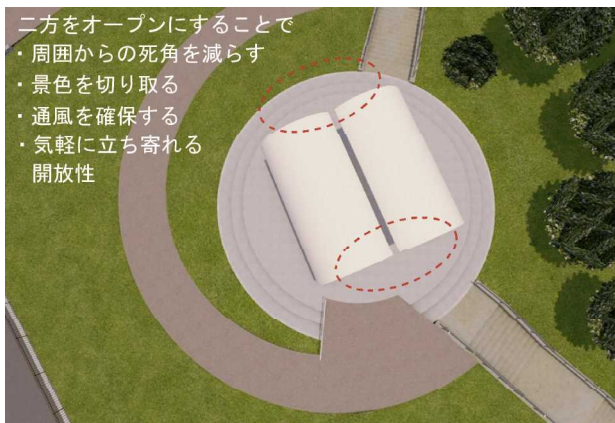


設計概要  
延べ面積：25㎡  
構造：RC造  
階数：平屋建て



### ◆構造・仕上げについて

構造は台風に耐久性のある鉄筋コンクリート造を採用。  
 躯体はコンクリート打放し補修の上、吹付タイル仕上げとし、  
 塗装は沖縄の青い空と公園の美しい緑に映えるような白色とする。  
 スラブ及びサークルステップ部分はコンクリート金ゴテ仕上げの上、滑り止めコート材で  
 防滑処理を行い、**光のライン**がはっきりと表れる仕上げとする。

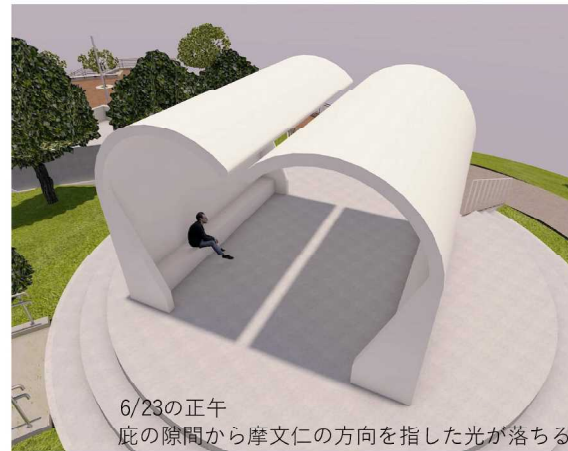


### ◆展望台として

展望広場への既存の出入口が3カ所あることから  
 回遊性のある平面で人の自由な動きに対応できる  
 ようにし、サークルステップを設けることで  
 360度の眺望を楽しめるように工夫した。  
 建物がフレームとなって平和で美しい景色を切り取り、  
 展望台としての「見る」機能を充実させる。

### ◆休憩所として

東西側から壁を立ち上げて庇を設けることで、  
 夏場は内部に大きな影が長い時間落ち、冬場は南側の  
 開口から大きく口が入り、快適に過ごせるよう設計した。  
 スラブに描かれる光は内部空間を豊かにし、人々に  
 安らぎをもたらす。



### ◆デザインについて

海軍壕公園は戦跡公園と知られるがゆえに  
 暗いイメージや怖いイメージを抱いている人が多い。  
 そもそも沖縄県民でも海軍壕公園のことを知らない人や  
 行ったことのない人が多いことから  
 明るく、目を引くようなデザインにし、  
**訪れてみたくなるような展望台**にしたいと考えた。  
 ハート、カモメ、翼...様々に見えるデザインは  
 見る人の想像力を掻き立て、楽しさを与えると同時に  
 この形が何を意味するのか、**平和のモニュメント**としての  
 役割も担い、平和を色んな視点から考えるきっかけを  
 与えてくれることだろう。



### ◆平和祈念の場として

毎年慰霊の日には糸満市摩文仁の平和祈念公園で  
 「沖縄全戦没者追悼式」が行われる。  
 正午になると街にサイレンが鳴り響き、  
 全沖縄県民が黙とうを捧げ、戦没者を追悼する。  
 海軍壕公園では慰霊の日に式典などは執り行われないが  
 都市部から近く、高速からのアクセスもいいことから  
 慰霊の日に平和祈念公園まで行けない方々に  
 祈りの場として利用してほしいと考えた。

この案では、6月23日の正午に  
 摩文仁の方角を指した「祈りの光」がさし込む計画とし、  
 慰霊の日に新たな**平和祈念の場**としての活用を提案する。

